

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	輝きを放ち、成長・安心を実感できる石川の道路整備（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	石川県、小松市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や生産活動における拠点間の円滑な移動・物流の実現により、利用者の道路に対する満足度が向上する道路整備を進める。 石川を訪れる観光客が魅力ある観光地を周遊し、通年で新幹線開業効果を県下全域に波及できるよう、雪に強く安定した交通（人流・物流）を可能とする道路整備を進める。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,226	A	3,226	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末		R6末
1	・道路利用者満足度調査（いしかわ道の通信簿）における満足度指数を平成30年度の7割から令和6年度末（2024末）までに8割に向上させる。 満足度指数（「満足」「やや満足」と回答した割合） 「満足」「やや満足」の回答数 / 全回答数（「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満」「不満」）	7割	割	8割
2	・主要観光施設利用者数の増加率を平成30年度と比較し、令和6年度末（2024末）までに17%以上に増加させる。 主要観光施設利用者数の増加率 主要観光施設利用者数（評価時） / 主要観光施設利用者数（計画時） × 100	100%	%	117%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	石川県	直接	石川県	都道府 県道	改築	(主)福浦港中島線 中 島町土川	現道拡幅 L=0.7km	七尾市						300	-	
	A01-002	道路	一般	石川県	直接	石川県	都道府 県道	改築	(一)荒木田原町線 熊 坂~曾宇	バイパス L=0.24km	加賀市						2,185	-	
	A01-003	道路	一般	小松市	直接	小松市	市町村 道	改築	(市)幸町八幡線 吉竹 町~八幡	道路改良 L=0.48km	小松市						741	-	
											小計						3,226		
											合計						3,226		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 石川県公共事業評価監視委員会にて実施	事後評価の実施時期 事業完了後
	公表の方法 石川県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路網の整備により、人流・物流の強化を図った結果、主要観光地施設利用者数は目標に至らなかったが、道路利用者の満足度向上は目標を達成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	南加賀ルート（加賀市熊坂町～細坪町）の整備により、加賀インターチェンジから山代温泉や山中温泉へのアクセス性が向上し、南加賀地域の活性化や観光振興に寄与した。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、地域の活性化に寄与する道路整備に取り組んでいくこととしている。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	道路利用者満足度指数	
	最終目標値	8割
	最終実績値	8割
2	主要観光地施設利用者数の増加率	
	最終目標値	117%
	最終実績値	72%